

目次

口 絵 道元筆 正法眼藏諸法実相断簡(付、極書) (滋賀県余呉町・洞寿院)

回想十年——退任の辞にかえて——…………… 禅研究所所長 中 租 一 誠…………… (i)

公開講演会

禅と桃のおいしい関係…………… 玄 侑 宗 久…………… (二)

研究会

荣西門流の入宋渡海——道元との関係を中心として——…………… 中 尾 良 信…………… (三)

論文

『洞谷記』の原形について…………… 河 合 泰 弘…………… (四)

興隆期の法持寺について	川口高風	(一六)
聚雲派法化の展開	長谷部幽蹊	(一七)
韓国仏教現状調査——禅院を訪ねて——	蓑輪顕量	(二九)
「人間の尊厳」の仏教的解釈 ——脳死と安楽死問題を手がかりとして——	木村文輝	(三五)
天台『六妙法門』の研究(九)―二	大野栄人	(二八)
平成一六年度禅研究所活動記録		(二五)
執筆者紹介		(二六)
編集後記		(二四)